

議案第 59 号

令和 8 年度

川崎市病院事業会計予算書



令和8年度 川崎市病院事業会計予算

(総 則)

第1条 令和8年度川崎市病院事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 病床数、年間患者数及び1日平均患者数

ア 病床数（許可）		川崎病院	井田病院	多摩病院
一般病床	1,382床	663床	343床	376床
精神病床	38床	38床	—	—
感染症病床	12床	12床	—	—
結核病床	40床	—	40床	—
合 計	1,472床	713床	383床	376床
イ 年間患者数				
入 院	404,385人	182,598人	104,607人	117,180人
外 来	638,402人	290,400人	124,730人	223,272人
ウ 1日平均患者数				
入 院	1,108人	500人	287人	321人
外 来	2,545人	1,200人	515人	830人

(2) 主要な建設改良事業

ア 病院施設整備事業	672,743千円
イ 施設改良工事	2,647,951千円
ウ 医療器械整備事業	1,219,673千円
エ 資産購入費	390,896千円
オ 無形固定資産購入費	260,789千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収		入
第1款	病院事業収益	43,429,906 千円
第1項	医業収益	35,725,377 千円
第2項	医業外収益	7,220,354 千円
第3項	特別利益	484,175 千円

支		出
第1款	病院事業費用	46,169,161 千円
第1項	医業費用	45,006,643 千円
第2項	医業外費用	934,173 千円
第3項	特別損失	218,345 千円
第4項	予備費	10,000 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 2,898,042千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 23,877千円並びに過年度分及び当年度分損益勘定留保資金 995,115千円で補填し、なお不足する額 1,879,050千円は一時借入金で措置するものとする。）。

収		入
第1款	病院事業資本的収入	7,206,516 千円
第1項	企業債	4,916,400 千円
第2項	固定資産売却代金	2 千円
第3項	補助金	3 千円
第4項	寄附金	2 千円
第5項	負担金	2,290,109 千円

## 支 出

第 1 款	病院事業資本的支出	10,104,558 千円
第 1 項	建設改良費	5,192,052 千円
第 2 項	企業債償還金	4,912,506 千円

(債務負担行為)

第 5 条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
令和 8 年度 医療器械保守業務経費	令和 8 年度から 令和 17 年度まで	252,405 千円
川崎病院 医事業務経費（追加分）	令和 9 年度から 令和 11 年度まで	83,735 千円
令和 8 年度 川崎病院医療用スマートフォン 通信サービス提供業務経費	令和 9 年度から 令和 12 年度まで	49,557 千円
川崎病院 医療機能再編整備 2 期事業経費	令和 8 年度から 令和 10 年度まで	1,502,371 千円
川崎病院 7 階機械室空調機改修整備経費	令和 9 年度	647,758 千円
川崎病院 病棟陰圧室改修整備経費	令和 9 年度	100,650 千円
川崎病院 C 棟外壁塗装改修工事経費	令和 9 年度	121,820 千円
川崎病院 蒸気配管改修その他その 2 工事経費	令和 9 年度	220,868 千円

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
1 病院事業	千円 4,916,400	政府資金、銀行その他から普通貸借又は証券発行(他の地方公共団体との共同発行を含む。)による。起債の時期は当該年度とする。ただし、事業進捗又は財政その他の都合により、全部又は一部を翌年度へ繰越して起債することができる。	年 6.0%以内 ただし、利率見直し方式で借り入れた資金について、利率の見直しを行った後において、当該見直し後の年度における利率とする。	借入れの日から30か年以内(据置期間を含む。)に償還する。ただし、企業財政の都合により繰上償還、償還年限の短縮又は本議決の範囲内で借換えすることができる。

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、15,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 消費税及び地方消費税に不足が生じた場合における医業費用及び医業外費用の間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 21,527,621 千円

(2) 交際費 2,104 千円

(他会計からの補助金)

第10条 物価高騰対策のため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、16,440千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第11条 たな卸資産の購入限度額は、9,515,957千円と定める。

(重要な資産の取得及び処分)

第12条 重要な資産の取得及び処分は、次のとおりとする。

	種 類	名 称	数量
1 取得する資産	器 械 備 品	人工心肺装置	1式
		全身用X線CT診断装置	1式
		多目的デジタルX線透視装置	1式
	無形固定資産	財務会計システム	1式

令和 8 年 2 月 1 2 日提出

川崎市長 福 田 紀 彦



病院事業会計予算  
に関する説明書

令和8年度 川崎市病院

収益的収入

収

款	項	目
1 病院事業収益	1 医療収益  2 医療外収益  3 特別利益	1 入院収益 2 外来収益 3 その他医療収益  1 受取利息配当金 2 他会計補助金 3 補助金 4 負担金交付金 5 患者外給食収益 6 長期前受金戻入 7 資本費繰入収益 8 その他医療外収益  1 固定資産売却益 2 過年度損益修正益 3 長期前受金戻入

事業会計予算実施計画

及 び 支 出

入

予 定 額 (千円)	備 考
43,429,906	
35,725,377	
22,146,082	入院診療収益
10,484,956	外来診療収益
3,094,339	室料差額収益、一般会計負担金等
7,220,354	
5,731	預金利息
16,440	市補助金
60,407	国・県補助金
4,831,756	一般会計負担金
412	患者外給食収入
1,003,398	長期前受金収益化額
575,025	資本費一般会計繰入収益
727,185	その他医業外収益
484,175	
2	固定資産売却差益
53,636	過年度損益修正益
430,537	長期前受金収益化額

## 支

款	項	目
1 病院事業費用	1 医療費用	1 給与費 2 材料費 3 経費 4 減価償却費 5 資産減耗費 6 研究研修費
	2 医療外費用	1 支払利息及び 企業債取扱諸費 2 患者外給食材料費 3 消費税及び地方消費税 4 雑損失
	3 特別損失	1 固定資産売却損 2 過年度損益修正損
	4 予備費	1 予備費

## 出

予 定 額 (千円)	備 考
46,169,161	
45,006,643	
21,549,292	職員の給料、手当等
9,745,668	薬品費、診療材料費、給食材料費等
9,746,626	経営に要する諸経費
3,731,608	固定資産減価償却費
132,870	固定資産除却費等
100,579	学会出張旅費、図書費、研修受講料等
934,173	
827,400	企業債利息等
888	患者外給食材料費
105,881	消費税及び地方消費税納付額
4	雑損失
218,345	
2	固定資産売却差損
218,343	過年度損益修正損
10,000	
10,000	予備費

資 本 的 收 入  
收

款	項	目
1 病院事業資本的收入	1 企 業 債	1 企 業 債
	2 固定資産売却代金	1 固定資産売却代金
	3 補 助 金	1 補 助 金
	4 寄 附 金	1 寄 附 金
	5 負 担 金	1 他 会 計 負 担 金

支

款	項	目
1 病院事業資本の支出	1 建 設 改 良 費	1 病院整備事業費
		2 改 良 費
		3 医療器械整備費
		4 資 産 購 入 費
		5 無形固定資産購入費
	2 企 業 債 償 還 金	1 企 業 債 償 還 金

及 び 支 出

入

予 定 額 (千円)	備	考
7,206,516		
4,916,400		
4,916,400	病院事業債	
2		
2	固定資産売却代金	
3		
3	国・県補助金	
2		
2	寄附金	
2,290,109		
2,290,109	一般会計負担金	

出

予 定 額 (千円)	備	考
10,104,558		
5,192,052		
672,743	病院施設整備に要する費用	
2,647,951	施設改良に要する費用	
1,219,673	高額医療器械等購入費	
390,896	医療器械等購入費	
260,789	無形固定資産購入費	
4,912,506		
4,912,506	企業債償還金	

## 令和8年度 川崎市病院事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位 千円)

### 1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益 (△は損失)	△ 2,763,132
減価償却費	3,731,608
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	456,835
賞与引当金の増減額 (△は減少)	78,393
長期前受金戻入額	△ 1,433,935
資本費繰入収益額	△ 575,025
受取利息配当金	△ 5,731
支払利息及び企業債取扱諸費	827,400
固定資産除却損	131,910
固定資産売却益	△ 2
固定資産売却損	2
未収金の増減額 (△は増加)	△ 368,744
未払金の増減額 (△は減少)	△ 3,199,427
未払費用の増減額 (△は減少)	163,011
たな卸資産の増減額 (△は増加)	<u>964</u>
小計	△ 2,955,873
利息及び配当金の受取額	5,731
利息及び企業債取扱諸費の支払額	<u>△ 815,078</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,765,220

## 2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 4,087,672
有形固定資産の売却による収入	4
無形固定資産の取得による支出	△ 260,789
国庫補助金等による収入	3
寄附金による収入	2
一般会計からの繰入金等による収入	<u>2,865,134</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,483,318

## 3 財務活動によるキャッシュ・フロー

一時借入れによる収入	15,000,000
一時借入金の返済による支出	△ 12,000,000
リース債務の返済による支出	△ 181,311
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	4,916,400
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	<u>△ 4,912,506</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,822,583

資金減少額	2,425,955
資金期首残高	<u>2,689,153</u>
資金期末残高	263,198

## 給 与 費

### 1 総 括

#### (1) 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職 員 数		給	
	特別職 (人)	一般職 (人)	報 酬 (千円)	給 料 (千円)
本 年 度	1	( ー ) 1,606	—	6,305,450
前 年 度	1	( ー ) 1,556	—	5,947,741
比 較	—	( ー ) 50	—	357,709

注 ( )内は、再任用短時間勤務職員の職員数(外数)である。

手 当 の 内 訳	区 分	初任給調整手当 (千円)	扶 養 手 当 (千円)	地 域 手 当 (千円)
	本 年 度	389,713	73,248	1,041,934
	前 年 度	405,059	72,652	988,523
	比 較	△ 15,346	596	53,411
	区 分	時間外勤務手当 (千円)	夜間勤務手当 (千円)	休日勤務手当 (千円)
	本 年 度	846,492	166,550	141,492
	前 年 度	793,662	157,481	148,857
	比 較	52,830	9,069	△ 7,365

明 細 書

与 費		法定福利費 (千円)	合 計 (千円)
手 当 (千円)	計 (千円)		
8,142,738	14,448,188	2,582,416	17,030,604
7,757,699	13,705,440	2,455,686	16,161,126
385,039	742,748	126,730	869,478

通 勤 手 当 (千円)	住 居 手 当 (千円)	管 理 職 手 当 (千円)	特 殊 勤 務 手 当 (千円)
206,579	110,955	159,367	1,113,344
207,560	104,361	158,298	1,114,808
△ 981	6,594	1,069	△ 1,464
宿 日 直 手 当 (千円)	期 末 ・ 勤 勉 手 当 (千円)	退 職 給 付 費 (千円)	管 理 職 員 特 別 勤 務 手 当 (千円)
30,000	2,951,572	910,492	1,000
27,840	2,786,204	791,394	1,000
2,160	165,368	119,098	—

## (2) 会計年度任用職員

区 分	職 員 数 (人)	給	
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)
本 年 度	( 334 ) 331	—	1,835,794
前 年 度	( 326 ) 315	—	1,665,210
比 較	( 8 ) 16	—	170,584

注 ( )内は、一週間当たりの通常の勤務時間が常時勤務を要する職を占める

手 当 の 内 訳	区 分	初任給調整手当 (千円)	地 域 手 当 (千円)	通 勤 手 当 (千円)
	本 年 度	120,703	293,724	63,256
	前 年 度	110,326	268,800	65,241
	比 較	10,377	24,924	△ 1,985
	区 分	夜間勤務手当 (千円)	休日勤務手当 (千円)	期末・勤勉手当 (千円)
	本 年 度	22,425	7,788	826,035
	前 年 度	17,066	5,846	744,999
	比 較	5,359	1,942	81,036

与 費		法定福利費 (千円)	合 計 (千円)
手 当 (千円)	計 (千円)		
1,973,796	3,809,590	687,427	4,497,017
1,798,393	3,463,603	626,511	4,090,114
175,403	345,987	60,916	406,903

職員の一週間当たりの通常の勤務時間に比し短い職員の職員数(外数)である。

特殊勤務手当 (千円)	時間外勤務手当 (千円)
152,836	442,094
163,969	382,827
△ 11,133	59,267
退職給付費 (千円)	
44,935	
39,319	
5,616	

2 給料及び手当の増減額の明細

(1) 会計年度任用職員以外の職員

区 分	増 減 額 (千円)	増 減 事 由 別 内 訳 (千円)	
給 料	357,709	給 与 改 定 に 伴 う 増 減 分	227,057
		昇 給 に 伴 う 増 加 分	67,353
		そ の 他 の 増 減 分	63,299
手 当	376,456	制 度 改 正 に 伴 う 増 減 分	31,688
		そ の 他 の 増 減 分	344,768

説 明	備 考
給 与 改 定 に 係 る 増 分	給与改定の状況 前年度 [ 給料の改定率 3.68% 給与改定実施時期 令和7年4月
昇 給 に 係 る 所 要 額	平均昇給率 1.2 %
新 陳 代 謝 等 に 係 る 減 分 132,708 千円 定 数 増 に 係 る 計 上 額 の 増 分 196,007 千円	職員数の異動状況 (現に在職する職員数) (その他) (計) 本年度 1,598 人 8 人 1,606人 前年度 1,546 人 10 人 1,556人 増 減 52 人 △ 2 人 50人
期 末 ・ 勤 勉 手 当 に 係 る 増 分 31,688 千円	制度改正の内容 期末・勤勉手当の (改正前) (改正後) 支給月数 4.60月 → 4.65月

(2) 会計年度任用職員

区 分	増 減 額 (千円)	増 減 事 由 別 内 訳 (千円)	
給 料	170,584	そ の 他 の 増 減 分	170,584
手 当	175,403	制 度 改 正 に 伴 う 増 減 分	8,882
		そ の 他 の 増 減 分	166,521

説 明	備 考
期 末 ・ 勤 勉 手 当 に 係 る 増 分 8,882 千円	制度改正の内容 期末・勤勉手当の (改正前) (改正後) 支給月数 4.60月 → 4.65月

3 給料及び手当の状況(会計年度任用職員以外の職員)

(1) 職員1人当たり給与

区	分	一般行政職 (病院企業職(1))
令和7年12月1日現在	平均給料月額(円)	346,800
	平均給与月額(円)	679,607
	平均年齢(歳)	43.09
令和6年12月1日現在	平均給料月額(円)	341,378
	平均給与月額(円)	686,950
	平均年齢(歳)	43.11

(2) 初任給

区	分	一般行政職	技能労務職	医療職	医療技術職
		(円)	(円)	(円)	(円)
高	校 卒	197,300	190,200	—	197,300
大	学 卒	231,400	—	337,700	231,400

技 能 労 務 職 (病院企業職(2))	医 療 職 (病院企業職(3))	医 療 技 術 職 (病院企業職(4))
—	482,756	300,829
—	1,314,157	587,037
—	46.02	36.04
—	447,293	289,869
—	1,223,252	564,700
—	45.11	36.10

一 般 会 計 の 制 度			
一 般 行 政 職 (円)	技 能 労 務 職 (円)	医 療 職 (円)	医 療 技 術 職 (円)
197,300	190,200	—	197,300
231,400	—	337,700	231,400

## (3) 級別職員数

区 分		一 般 行 政 職	
		職 員 数 (人)	構 成 比 (%)
令和7年12月1日現在	1 級	6	5.3
	2 級	35	31.0
	3 級	21	18.6
	4 級	23	20.4
	5 級	10	8.8
	6 級	12	10.6
	7 級	5	4.4
	8 級	1	0.9
	計	113	100.0
令和6年12月1日現在	1 級	5	4.6
	2 級	37	33.9
	3 級	15	13.8
	4 級	21	19.3
	5 級	13	11.9
	6 級	12	11.0
	7 級	5	4.6
	8 級	1	0.9
	計	109	100.0

技能労務職		医療職		医療技術職	
職員数 (人)	構成比 (%)	職員数 (人)	構成比 (%)	職員数 (人)	構成比 (%)
—	—	—	—	300	23.1
—	—	51	27.1	564	43.5
—	—	42	22.3	309	23.8
—	—	60	32.0	80	6.2
—	—	35	18.6	18	1.4
—	—	—	—	22	1.7
—	—	—	—	4	0.3
—	—	—	—	—	—
—	—	188	100.0	1,297	100.0
—	—	—	—	207	16.7
—	—	61	31.4	619	49.8
—	—	35	18.0	296	23.8
—	—	62	32.0	79	6.4
—	—	36	18.6	20	1.6
—	—	—	—	19	1.5
—	—	—	—	3	0.2
—	—	—	—	—	—
—	—	194	100.0	1,243	100.0

(級別の基準となる職務)

区 分	1 級	2 級	3 級
一 般 行 政 職	定型的業務を行 う職員	高度の知識又 は経験を必要と する職員	主 任
技 能 労 務 職	業 務 職 員	相当の経験を 必要とする 業務職員	高度の経験を 必要とする 業務職員
医 療 職	医 師 ・ 歯 科 医 師	副 医 長	医 長
医 療 技 術 職	医療技術職員	高度の技術・ 経験を有する 医療技術職員	主 任

(4) 特殊勤務手当

区 分	全職種	一 般 行政職	技 能 労務職	医療職	医 療 技術職
給料総額に対する比率(%)	17.7	0.7	—	34.3	15.4
支給対象職員の比率(%) (令和7年12月1日現在)	87.5	6.2	—	93.6	93.5
支給対象職員1人当たり 平均支給月額(円)	66,365	42,798	—	184,862	49,417
代表的な特殊勤務 手当の名称	医務等従事手当、夜間看護手当				

4 級	5 級	6 級	7 級	8 級
係長・担当係長	課長補佐	課長・担当課長	部長・室長 担当部長・ 事務局長	局長・担当理事
職長	—	—	—	—
副院長・部長 又は担当部長	病院長・ 担当理事	—	—	—
担当係長	課長補佐	課長・担当課長	副院長・部長 又は担当部長	—

## (5) 期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支給率計 (月分)	職制上の段階、 職務の級等による加算措置	備考
	6月(月分)	12月(月分)			
本 年 度	( 1.225 ) 2.325	( 1.225 ) 2.325	( 2.450 ) 4.650	有	
前 年 度	( 1.200 ) 2.300	( 1.200 ) 2.300	( 2.400 ) 4.600	有	
一般会計の制度	同 じ	同 じ	同 じ	同 じ	

注 ( )内は、再任用職員に係る支給率である。

## (6) 定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

区 分	20年勤続 の 者 (月分)	25年勤続 の 者 (月分)	35年勤続 の 者 (月分)	最 高 度 限 度 (月分)	そ の 他 の 加 算 措 置 等	備考
支 給 率 等	24.586875	33.270750	47.709000	47.709000	定年前早期 退職特例措置 (2~20%加算)	
一般会計の制度 ( 支 給 率 等 )	同 じ	同 じ	同 じ	同 じ	同 じ	

## (7) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同	差 異 の 内 容
扶 養 手 当	同 じ	
地 域 手 当	同 じ	
住 居 手 当	同 じ	
通 勤 手 当	同 じ	



債 務 負 担 行 為

事 項	限 度 額	令 和 7 年 度 末 ま で の 支 払 義 務 発 生 ( 見 込 ) 額	
		期 間	金 額
令和2年度 医療器械保守業務等経費	千円 216,171	令和3年度から 令和7年度まで	千円 192,777
令和3年度 医療器械保守業務経費	477,525	令和4年度から 令和7年度まで	333,007
令和4年度 医療器械保守業務経費	78,573	令和5年度から 令和7年度まで	72,071
令和5年度 医療器械保守業務経費	259,804	令和6年度から 令和7年度まで	108,641
令和6年度 医療器械保守業務経費	748,399	令和7年度	86,460
令和7年度 医療器械保守業務経費	505,494	—	—
令和8年度 医療器械保守業務経費	252,405	—	—
川崎病院エネルギー サービス事業経費	事業者が保証した システム効率の5% 増を基準値として、 年間の実績値が基 準値を上回った場 合、省エネルギーと なったエネルギー 消費量に相当する 光熱水費の半額	令和6年度から 令和7年度まで	—
川崎病院エネルギー サービス事業経費(保守)	1,746,560	令和6年度から 令和7年度まで	243,706
川崎病院 医療用スマートフォン 通信サービス提供業務経費	33,358	令和7年度	11,931
令和8年度 川崎病院 医療用スマートフォン 通信サービス提供業務経費	49,557	—	—
川崎病院 医事業務経費	3,040,629	—	—
川崎病院 医事業務経費(追加分)	83,735	—	—

に 関 す る 調 書

令和8年度以降の支払義務発生予定額		左の財源内訳		
期 間	金 額	企 業 債	負 担 金	自 己 資 金
	千円	千円	千円	千円
令和8年度から 令和11年度まで	5,972	—	—	5,972
令和8年度から 令和9年度まで	80,095	—	—	80,095
令和8年度から 令和9年度まで	4,388	—	—	4,388
令和8年度から 令和14年度まで	147,009	—	—	147,009
令和8年度から 令和15年度まで	644,296	—	—	644,296
令和8年度から 令和15年度まで	130,718	—	—	130,718
令和8年度から 令和17年度まで	252,405	—	—	252,405
令和8年度から 令和20年度まで	限度額に同じ	—	—	—
令和8年度から 令和20年度まで	1,502,854	—	—	1,502,854
令和8年度から 令和9年度まで	17,897	—	—	17,897
令和9年度から 令和12年度まで	49,557	—	—	49,557
令和8年度から 令和11年度まで	2,948,091	—	—	2,948,091
令和9年度から 令和11年度まで	83,735	—	—	83,735

事 項	限 度 額	令 和 7 年 度 末 ま での 支 払 義 務 発 生 ( 見 込 ) 額	
		期 間	金 額
井田病院 医事業務経費	千円 1,451,631	—	千円 —
川崎病院 医療機能再編整備事業経費	2,729,397	令和6年度から 令和7年度まで	414,281
川崎病院医療機能 再編整備2期事業経費	1,502,371	—	—
川崎病院昇降機 長寿命化整備事業経費	1,232,934	令和7年度	528,400
川崎病院 受変電設備整備経費	828,446	—	—
川崎病院7階機械室 空調機改修整備経費	647,758	—	—
川崎病院 病棟陰圧室改修整備経費	100,650	—	—
川崎病院 C棟外壁塗装改修工事経費	121,820	—	—
川崎病院蒸気配管 改修その他その2工事経費	220,868	—	—

令和8年度以降の支払 義務発生予定額		左の財源内訳		
期 間	金 額	企 業 債	負 担 金	自 己 資 金
	千円	千円	千円	千円
令和8年度から 令和10年度まで	1,438,668	—	—	1,438,668
令和8年度から 令和9年度まで	769,410	769,000	—	410
令和8年度から 令和10年度まで	1,502,371	1,502,000	—	371
令和8年度から 令和9年度まで	704,534	704,000	—	534
令和8年度から 令和9年度まで	377,300	377,000	—	300
令和9年度	647,758	647,000	—	758
令和9年度	100,650	100,000	—	650
令和9年度	121,820	121,000	—	820
令和9年度	220,868	220,000	—	868

## 令和8年度 川崎市病院事業予定損益計算書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位 千円)

1	医 業 収 益			
	(1) 入 院 収 益	22,129,184		
	(2) 外 来 収 益	10,434,069		
	(3) そ の 他 医 業 収 益	<u>3,005,362</u>	35,568,615	
2	医 業 費 用			
	(1) 給 与 費	21,524,773		
	(2) 材 料 費	8,859,699		
	(3) 経 費	9,021,439		
	(4) 減 価 償 却 費	3,731,608		
	(5) 資 産 減 耗 費	132,870		
	(6) 研 究 研 修 費	<u>95,376</u>	<u>43,365,765</u>	
	医 業 損 失			7,797,150
3	医 業 外 収 益			
	(1) 受 取 利 息 配 当 金	5,731		
	(2) 他 会 計 補 助 金	16,440		
	(3) 補 助 金	60,407		
	(4) 負 担 金 交 付 金	4,831,756		
	(5) 患 者 外 給 食 収 益	405		
	(6) 長 期 前 受 金 戻 入	1,003,398		
	(7) 資 本 費 繰 入 収 益	575,025		
	(8) そ の 他 医 業 外 収 益	<u>700,649</u>	7,193,811	
4	医 業 外 費 用			
	(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	827,400		
	(2) 患 者 外 給 食 材 料 費	807		

(3) 雑 損 失	<u>1,587,416</u>	<u>2,415,623</u>	<u>4,778,188</u>
経 常 損 失			3,018,962
5 特 別 利 益			
(1) 固 定 資 産 売 却 益	2		
(2) 過 年 度 損 益 修 正 益	53,636		
(3) 長 期 前 受 金 戻 入	<u>430,537</u>	484,175	
6 特 別 損 失			
(1) 固 定 資 産 売 却 損	2		
(2) 過 年 度 損 益 修 正 損	<u>218,343</u>	<u>218,345</u>	265,830
7 予 備 費			
(1) 予 備 費	<u>10,000</u>	<u>10,000</u>	<u>10,000</u>
当 年 度 純 損 失			2,763,132
前 年 度 繰 越 欠 損 金			23,269,227
そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額			<u>0</u>
当 年 度 未 処 理 欠 損 金			<u><u>26,032,359</u></u>

令和8年度 川崎市病院事業予定貸借対照表

(令和9年3月31日)

(単位 千円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

ア 土 地		6,715,879	
イ 建 物	89,278,749		
減価償却累計額	<u>△ 54,138,127</u>	35,140,622	
ウ 構 築 物	2,269,449		
減価償却累計額	<u>△ 1,616,306</u>	653,143	
エ 器 械 備 品	12,343,835		
減価償却累計額	<u>△ 8,527,965</u>	3,815,870	
オ 車 両	26,787		
減価償却累計額	<u>△ 16,810</u>	9,977	
カ リ ー ス 資 産	879,030		
減価償却累計額	<u>△ 247,488</u>	631,542	
キ その他有形固定資産	63,503		
減価償却累計額	<u>△ 39,321</u>	24,182	
ク 建 設 仮 勘 定		<u>4,205,912</u>	
有形固定資産合計			51,197,127

(2) 無 形 固 定 資 産

ア 電 話 加 入 権		60	
イ 施 設 利 用 権		444	
ウ その他無形固定資産		<u>260,789</u>	
無形固定資産合計			<u>261,293</u>

固 定 資 産 合 計 51,458,420

## 2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金		263,198	
(2) 未 収 金	4,466,764		
貸 倒 引 当 金	<u>△ 106,665</u>	4,360,099	
(3) 貯 蔵 品		210,261	
(4) 前 払 金		<u>1,864</u>	
流 動 資 産 合 計			<u>4,835,422</u>
資 産 合 計			<u>56,293,842</u>

## 負 債 の 部

### 3 固 定 負 債

(1) 企 業 債			
ア 建設改良費等の 財源に充てる ための企業債	36,742,402		
イ その他の企業債	<u>1,800,000</u>		
企 業 債 合 計		38,542,402	
(2) リ ー ス 債 務		459,558	
(3) 引 当 金			
ア 退職給付引当金	<u>6,829,712</u>		
引 当 金 合 計		<u>6,829,712</u>	
固 定 負 債 合 計			45,831,672

### 4 流 動 負 債

(1) 一 時 借 入 金		3,000,000	
(2) 企 業 債			
ア 建設改良費等の 財源に充てる ための企業債	<u>4,458,148</u>		
企 業 債 合 計		4,458,148	

(3) リース債務		169,963	
(4) 未払金		2,970,463	
(5) 未払費用		505,386	
(6) 引当金			
ア 賞与引当金	<u>1,485,156</u>		
引当金合計		1,485,156	
(7) その他流動負債		<u>156,985</u>	
流動負債合計			12,746,101
5 繰延収益			
長期前受金		27,812,739	
収益化累計額		<u>△ 23,336,583</u>	
繰延収益合計			<u>4,476,156</u>
負債合計			<u><u>63,053,929</u></u>

資 本 の 部

6 資本金			15,825,753
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
ア 受贈財産評価額	41,615		
イ 補助金	24,148		
ウ 負担金	<u>3,380,756</u>		
資本剰余金合計		3,446,519	
(2) 欠損金			
ア 当年度未処理欠損金	<u>26,032,359</u>		
欠損金合計		<u>26,032,359</u>	
剰余金合計			<u>△ 22,585,840</u>
資本合計			<u>△ 6,760,087</u>
負債資本合計			<u><u>56,293,842</u></u>

## 注記

### 1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

ア 貯蔵品 先入先出法による原価法による（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産（リース資産を除く。）

##### (ア) 減価償却の方法

定額法による。

##### (イ) 主な耐用年数

建物	5～47年
構築物	10～50年
器械備品	2～20年
車両	4～6年
その他有形固定資産	35年

イ 無形固定資産（リース資産を除く。）

##### (ア) 減価償却の方法

定額法による。

ウ リース資産

##### (ア) 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

##### (イ) 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

#### (3) 引当金の計上方法

ア 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

イ 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当事業年度の退職手当の期末要支給額に相当する額を計上している。

#### ウ 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当の支給及び期末・勤勉手当支給に係る法定福利費の支払に備えるため、当事業年度末における支給（支払）見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

#### (4) その他会計に関する書類作成のための基本となる重要な事項

##### ア 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっている。

なお、控除対象外消費税等については、当事業年度の費用として処理している。ただし、固定資産に係る控除対象外消費税等については、取得資産の付随費用として資産の取得価額に算入している。

#### 2 予定キャッシュ・フロー計算書に関する注記

##### 重要な非資金取引

##### (1) ファイナンス・リース取引による資産の取得

当事業年度に新たに計上したファイナンス・リース取引に係る資産及び負債の額は、それぞれ588,474千円である。

#### 3 予定貸借対照表に関する注記

##### (1) 企業債の償還に係る一般会計の負担

予定貸借対照表に計上されている企業債（当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は22,251,623千円である。

##### (2) ファイナンス・リース取引に係るリース債務

リース債務は、消費税及び地方消費税相当額を含んでいる。

#### 4 セグメント情報に関する注記

##### (1) 報告セグメントの概要

川崎市病院事業会計は、川崎市立川崎病院、川崎市立井田病院、川崎市立多摩病院の3病院を運営していることから、各病院を報告セグメントとしている。

各報告セグメントの事業の内容は以下のとおりである。

報告セグメント	事業の内容
川崎市立川崎病院	川崎市立川崎病院の運営 許可病床数 713床 (一般病床 663床、精神病床 38床、感染症病床 12床)
川崎市立井田病院	川崎市立井田病院の運営 許可病床数 383床 (一般病床 343床、結核病床 40床)
川崎市立多摩病院	川崎市立多摩病院の運営 (指定管理者制度による運営) 許可病床数 376床 (一般病床 376床)

##### (2) 報告セグメントごとの医業収益、医業費用、医業損益金額、経常損益金額、資産、負債その他の項目の金額

当事業年度 (令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位 千円)

	川崎病院	井田病院	多摩病院	合計
医業収益	25,341,298	9,136,392	1,090,925	35,568,615
医業費用	28,977,200	13,195,220	1,193,345	43,365,765
医業損益	△ 3,635,902	△ 4,058,828	△ 102,420	△ 7,797,150
経常損益	△ 1,205,306	△ 2,221,455	407,799	△ 3,018,962
セグメント資産	34,493,986	8,278,173	13,521,683	56,293,842
セグメント負債	36,283,557	17,475,316	9,295,056	63,053,929
その他の項目				
収益的収入 他会計繰入金 (うち資本費繰入収益)	4,149,668 (362,350)	2,309,101 (212,675)	861,929 (-)	7,320,698 (575,025)
資本的収入 他会計繰入金	1,173,948	336,228	779,933	2,290,109
減価償却費	2,275,258	1,101,468	354,882	3,731,608
特別利益	58,361	28,617	397,197	484,175
特別損失	172,401	45,942	2	218,345
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	6,272,538	750,452	111,001	7,133,991

## 5 その他の注記

### (1) 長期継続契約に係るリース債務

通常の売買取引の方法に準じた会計処理を行ったリース取引に係るリース債務のうち、地方自治法第234条の3に基づく長期継続契約に係るものは下記の金額である。

短期リース債務 169,963千円

長期リース債務 459,558千円

### (2) 貸倒引当金の目的使用による取り崩し

当事業年度において、債権の不納欠損による損失として36,699千円を処理するため、貸倒引当金36,699千円を取り崩す。

### (3) 退職給付引当金の目的使用による取り崩し

当事業年度において、職員の退職手当として498,593千円を支給するため、退職給付引当金498,593千円を取り崩す。

### (4) 賞与引当金の目的使用による取り崩し

当事業年度において、職員の期末・勤勉手当及び期末・勤勉手当支給に係る法定福利費として4,446,922千円を支給（支払）するため、賞与引当金1,406,763千円を取り崩す。

### (5) 資金の管理

病院事業会計の資金を効率的に管理するため、病院局経営企画室において資金管理及び支払事務を行っている。

令和7年度 川崎市病院事業予定損益計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位 千円)

1	医 業 収 益			
	(1) 入 院 収 益	20,422,140		
	(2) 外 来 収 益	9,176,632		
	(3) そ の 他 医 業 収 益	<u>3,053,010</u>	32,651,782	
2	医 業 費 用			
	(1) 給 与 費	20,822,416		
	(2) 材 料 費	9,079,623		
	(3) 経 費	8,004,281		
	(4) 減 価 償 却 費	3,367,042		
	(5) 資 産 減 耗 費	127,566		
	(6) 研 究 研 修 費	<u>77,903</u>	<u>41,478,831</u>	
	医 業 損 失			8,827,049
3	医 業 外 収 益			
	(1) 受 取 利 息 配 当 金	3,378		
	(2) 他 会 計 補 助 金	15,344		
	(3) 補 助 金	546,665		
	(4) 負 担 金 交 付 金	4,352,073		
	(5) 患 者 外 給 食 収 益	362		
	(6) 長 期 前 受 金 戻 入	965,765		
	(7) 資 本 費 繰 入 収 益	565,737		
	(8) そ の 他 医 業 外 収 益	<u>380,654</u>	6,829,978	
4	医 業 外 費 用			
	(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	563,234		
	(2) 患 者 外 給 食 材 料 費	406		

(3) 雑 損 失	<u>1,521,770</u>	<u>2,085,410</u>	<u>4,744,568</u>
経 常 損 失			4,082,481
5 特 別 利 益			
(1) 過年度損益修正益	98,771		
(2) 長期前受金戻入	406,098		
(3) その他特別利益	<u>2,400</u>	507,269	
6 特 別 損 失			
(1) 過年度損益修正損	<u>249,112</u>	<u>249,112</u>	<u>258,157</u>
当 年 度 純 損 失			3,824,324
前年度繰越欠損金			19,444,902
その他未処分 利益剰余金変動額			<u>0</u>
当年度未処理欠損金			<u><u>23,269,226</u></u>

# 令和7年度 川崎市病院事業予定貸借対照表

(令和 8 年 3 月 31 日)

(単位 千円)

## 資 産 の 部

### 1 固 定 資 産

#### (1) 有 形 固 定 資 産

ア 土 地		6,715,879	
イ 建 物	85,116,739		
減価償却累計額	<u>△ 52,064,808</u>	33,051,931	
ウ 構 築 物	2,269,449		
減価償却累計額	<u>△ 1,572,737</u>	696,712	
エ 器 械 備 品	13,562,593		
減価償却累計額	<u>△ 9,582,595</u>	3,979,998	
オ 車 両	26,789		
減価償却累計額	<u>△ 14,585</u>	12,204	
カ リ ー ス 資 産	345,105		
減価償却累計額	<u>△ 142,893</u>	202,212	
キ その他有形固定資産	63,503		
減価償却累計額	<u>△ 37,912</u>	25,591	
ク 建 設 仮 勘 定		<u>5,061,291</u>	
有形固定資産合計			49,745,818

#### (2) 無 形 固 定 資 産

ア 電 話 加 入 権		60	
イ 施 設 利 用 権		<u>726</u>	
無形固定資産合計			<u>786</u>
固定資産合計			49,746,604

## 2 流動資産

(1) 現金預金		2,689,153	
(2) 未収金	4,098,020		
貸倒引当金	<u>△ 106,665</u>	3,991,355	
(3) 貯蔵品		211,225	
(4) 前払金		<u>1,864</u>	
流動資産合計			<u>6,893,597</u>
資産合計			<u>56,640,201</u>

## 負債の部

### 3 固定負債

(1) 企業債			
ア 建設改良費等の 財源に充てる ための企業債	36,284,152		
イ その他の企業債	<u>1,800,000</u>		
企業債合計		38,084,152	
(2) リース債務		138,602	
(3) 引当金			
ア 退職給付引当金	<u>6,372,877</u>		
引当金合計		<u>6,372,877</u>	
固定負債合計			44,595,631

### 4 流動負債

(1) 企業債			
ア 建設改良費等の 財源に充てる ための企業債	<u>4,912,504</u>		
企業債合計		4,912,504	
(2) リース債務		83,756	
(3) 未払金		5,531,487	

(4) 未払費用		330,053	
(5) 引当金			
ア 賞与引当金	<u>1,406,763</u>		
引当金合計		1,406,763	
(6) その他流動負債		<u>156,985</u>	
流動負債合計			12,421,548
5 繰延収益			
長期前受金		25,753,036	
収益化累計額		<u>△ 21,902,648</u>	
繰延収益合計			<u>3,850,388</u>
負債合計			<u><u>60,867,567</u></u>

資 本 の 部

6 資本金			15,825,753
7 剰余金			
(1) 資本金剰余金			
ア 受贈財産評価額	41,615		
イ 補助金	24,148		
ウ 負担金	<u>3,150,345</u>		
資本金剰余金合計		3,216,108	
(2) 欠損金			
ア 当年度未処理欠損金	<u>23,269,227</u>		
欠損金合計		<u>23,269,227</u>	
剰余金合計			<u>△ 20,053,119</u>
資本金合計			<u>△ 4,227,366</u>
負債資本合計			<u><u>56,640,201</u></u>

## 注記

### 1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

ア 貯蔵品 先入先出法による原価法による（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産（リース資産を除く。）

##### (ア) 減価償却の方法

定額法による。

##### (イ) 主な耐用年数

建物	5～47年
構築物	10～50年
器械備品	2～20年
車両	4～6年
その他有形固定資産	35年

イ 無形固定資産（リース資産を除く。）

##### (ア) 減価償却の方法

定額法による。

ウ リース資産

##### (ア) 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

##### (イ) 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

#### (3) 引当金の計上方法

ア 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

イ 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当事業年度の退職手当の期末要支給額に相当する額を計上している。

#### ウ 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当の支給及び期末・勤勉手当支給に係る法定福利費の支払に備えるため、当事業年度末における支給（支払）見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

#### (4) その他会計に関する書類作成のための基本となる重要な事項

##### ア 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっている。

なお、控除対象外消費税等については、当事業年度の費用として処理している。ただし、固定資産に係る控除対象外消費税等については、取得資産の付随費用として資産の取得価額に算入している。

#### 2 予定キャッシュ・フロー計算書に関する注記

##### 重要な非資金取引

##### (1) ファイナンス・リース取引による資産の取得

当事業年度に新たに計上したファイナンス・リース取引に係る資産及び負債の額は、それぞれ16,395千円である。

#### 3 予定貸借対照表に関する注記

##### (1) 企業債の償還に係る一般会計の負担

予定貸借対照表に計上されている企業債（当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は22,693,504千円である。

##### (2) ファイナンス・リース取引に係るリース債務

リース債務は、消費税及び地方消費税相当額を含んでいる。

#### 4 セグメント情報に関する注記

##### (1) 報告セグメントの概要

川崎市病院事業会計は、川崎市立川崎病院、川崎市立井田病院、川崎市立多摩病院の3病院を運営していることから、各病院を報告セグメントとしている。

各報告セグメントの事業の内容は以下のとおりである。

報告セグメント	事業の内容
川崎市立川崎病院	川崎市立川崎病院の運営 許可病床数 713床 (一般病床 663床、精神病床 38床、感染症病床 12床)
川崎市立井田病院	川崎市立井田病院の運営 許可病床数 383床 (一般病床 343床、結核病床 40床)
川崎市立多摩病院	川崎市立多摩病院の運営 (指定管理者制度による運営) 許可病床数 376床 (一般病床 376床)

##### (2) 報告セグメントごとの医業収益、医業費用、医業損益金額、経常損益金額、資産、負債その他の項目の金額

当事業年度 (令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位 千円)

	川崎病院	井田病院	多摩病院	合計
医業収益	23,227,113	8,271,813	1,152,856	32,651,782
医業費用	27,759,767	12,612,511	1,106,553	41,478,831
医業損益	△ 4,532,654	△ 4,340,698	46,303	△ 8,827,049
経常損益	△ 2,162,282	△ 2,429,622	509,423	△ 4,082,481
セグメント資産	32,142,254	10,809,728	13,688,219	56,640,201
セグメント負債	32,613,235	17,768,412	10,485,920	60,867,567
その他の項目				
収益的収入 他会計繰入金 (うち資本費繰入収益)	3,649,175 (372,473)	2,298,692 (193,264)	876,979 (-)	6,824,846 (565,737)
資本的収入 他会計繰入金	1,174,965	325,984	755,504	2,256,453
減価償却費	1,948,706	1,079,822	338,514	3,367,042
特別利益	36,500	82,913	387,856	507,269
特別損失	215,421	33,500	191	249,112
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	7,366,110	340,215	95,375	7,801,700

## 5 その他の注記

### (1) 長期継続契約に係るリース債務

通常の売買取引の方法に準じた会計処理を行ったリース取引に係るリース債務のうち、地方自治法第234条の3に基づく長期継続契約に係るものは下記の金額である。

短期リース債務 83,756千円

長期リース債務 138,602千円

### (2) 貸倒引当金の目的使用による取り崩し

当事業年度において、債権の不納欠損による損失として15,847千円を処理するため、貸倒引当金15,847千円を取り崩す。

### (3) 退職給付引当金の目的使用による取り崩し

当事業年度において、職員の退職手当として384,507千円を支給するため、退職給付引当金384,507千円を取り崩す。

### (4) 賞与引当金の目的使用による取り崩し

当事業年度において、職員の期末・勤勉手当及び期末・勤勉手当支給に係る法定福利費として4,437,018千円を支給（支払）するため、賞与引当金1,366,926千円を取り崩す。

### (5) 資金の管理

病院事業会計の資金を効率的に管理するため、病院局経営企画室において資金管理及び支払事務を行っている。